

筑波大学菅平高原実験センター 利用報告書

平成27年10月4日

貴センターを利用して行った実習・セミナーが終了しましたので報告します。

実習名 (セミナー名)	自然環境調査法（福島大学共生システム理工学類環境システムマネジメント専攻の専攻実践科目、2年生以上が対象）					
利用 期間	自 平成27年8月24日 ～ 至 平成27年8月28日					
	区 分	教 員	大学院生	学部学生	その他	備 考
利用者	人 数	1	2	15	0	院生と学類生1名はTA
うち 受講者	人 数		0	14	0	

1. 実習・セミナーの内容について、簡潔にお書きください。
中部地方の高原に生育する植物と東北地方の平野部の草地に生育する植物が共通していることを実地で学ぶ。
目レベルで昆虫を認識できるようになるため、草原、森林、河川において昆虫を採集し、標本の作製方法、同定方法を学ぶ。
森林土壌中に生息する土壌動物の観察を通して、土壌中の食物網の実際を理解する。
根子岳における植物観察を通して、植物の分布、生育環境選好性、種によるフェノロジーの違いを学ぶ。

2. 成果をお書きください。（可能であれば写真なども該当シートに添付してください。）
台風の影響を危惧していたが、幸運なことにたいした雨にも降られず、すべてのメニューを順調に消化することができた。参加学生は草原植物に興味をもち、代表的なものの名前を覚えることができた。昆虫については、目レベルで認識できるスキルをしっかりと身につけることができた。根子岳を登りながらの植物の垂直分布調査では、植物の分布特性や種による生き様の違いを理解することができた。5日間の実習を通して、自然を調べる上での基本である「現地でじっくりと観察する」、「生物の形態を詳細に観察する」を参加者全員がしっかりと体験することができた。

3. 当センターをご利用いただいた感想、ご要望などご自由にお書きください。
食事、入浴などの準備の心配をせず、実習に専念できること、顕微鏡、ツルグレン装置、乾燥器などを持参しなくても良いこと、フィールドが隣接しているため、室内の作業と現地での採集や観察を平行して実施できることなど実習を行う上でセンターの環境は最適です。この施設で実習が実施できることを毎年本当にありがたく思っております。
今回は複数の実習が重なりましたが、少なくとも私たちの実習では不都合もなく、宿泊棟での生活も含めて快適に実習を実施させて頂くことができました。

4. 当センターは、「教育共同利用拠点」としての実習等の利用状況・概要をホームページ等で公開しています。上記1、2、3で非公開を希望される内容がありましたらお知らせください。
ありません。すべて公開して頂いて結構です。

担当教員 塘 忠顕

所 属 福島大学理工学群共生システム理工学類

職 名 教授

当センターでは、ホームページ等で実習等の成果報告を行っています。ホームページ上での掲載可能な写真を、コメントと共に頂けませんか？皆さんの充実した実習等の報告をお待ちしております。

(以下のスペースに自由に写真をはりつけ、コメントをつけてください。)



センター内のススキ草原での昆虫採集（2015年8月25日）



根子岳を登りながらの植物垂直分布調査（2015年8月26日）



中ノ沢での水生昆虫採集（2015年8月27日）



採集して標本にした昆虫の同定とツルグレン装置によって抽出された土壌動物の観察（2015年8月27日）